

**高校生による  
「特殊詐欺防止啓発活動」  
に関する報告書**

**2020 年度 群馬県立館林女子高等学校**

# 目次

---

活動の趣旨・経緯	2
学校概要	3
実施スケジュール、実施概要	4
活動レポート	
* 6月	
特殊詐欺についての調査開始	5
* 7月	
家庭クラブ委員会の結成	6
* 12月	
防犯パトロールでの啓発グッズ配布	7
調査研究発表	8
* 1月	
特殊詐欺防犯教室の実施	9
KANJO 家庭クラブ新聞の作成	10
* 2月	
館林警察署長より感謝状贈呈	11
各活動の実績	
特殊詐欺防止川柳作品（抜粋）	12
ホームプロジェクト（第2回）家庭での研究調査	13
各媒体における紹介	17
啓発グッズの配布実績	18
1年間のまとめ	19

## 活動の趣旨・経緯

---

本取組みは、学校家庭クラブ等の枠組みを活用して、生徒自身が特殊詐欺の被害が身近なところで起きている問題であることと捉え、その防止策等について理解し、生徒自身が考えた「特殊詐欺防止啓発活動」を地元地域で実践することで、生徒による社会貢献活動、ひいては地域における「特殊詐欺防止啓発活動」の自立的な広がりを期待したものである。全銀協は本取組みに関して、支援金の拠出や、活動に当たっての各種アドバイスや資料提供などのサポートを行うこととしている。

本取組みは、①「消費者教育に関する基本的な方針」（2013年6月閣議決定）において、金融経済教育と連携した消費者教育を推進することが重要であることが示されたこと、②学校教育において、課題の発見と解決に向けて主体的・協働的に学ぶ学習の重要性が高まっていること、③全銀協の金融経済教育活動懇談会（2015年2月開催）において、学校家庭クラブの活用、特殊詐欺防止をテーマとした生徒による教材制作について提言があったことなどを踏まえ、2016年度より試験的に導入したものであり、以下のような効果を期待している。

- 対象層数の拡大…金融経済教育に取り組む学校・教員・生徒数の増加
- 教育現場との連携強化…教育委員会・家庭科教員との新たなパイプ作り
- アクティブラーニングの実践…高校生が主体的・協働的に学ぶ学習機会の提供
- 金融犯罪防止啓発活動の効果…高校生が考える防止啓発活動の実践
- 対外PR力の向上…高校生による活動報告公表による広告効果

5年目となる2020年度は、新たに群馬県教育委員会下で実施校を募集し、群馬県立館林女子高等学校に「特殊詐欺防止啓発活動」を委嘱した。

※2020年9月までは「振り込め詐欺等防止啓発活動」と表記。2020年10月より「特殊詐欺防止啓発活動」に名称変更。

## 学校概要

---

### ■沿革

大正 6 年 4 月 館林町立実科高等女学校として開校

大正 12 年 4 月 館林町立高等女学校を県に移管、群馬県立館林高等女学校と改称

昭和 23 年 4 月 学制改革により県立館林女子高等学校と改称

平成 29 年 11 月 創立百周年記念式典挙行

### ■校訓

自立自治・・・自らを律して規範に従い、進んで行動しよう。

温雅健康・・・優しく上品で、心身ともに健康な女性になろう。

敬愛親和・・・互いに尊敬の念をもって接し、みんなと親しみ仲良くしよう。

### ■家庭基礎「探究」

授業のなかで探究ゼミを実施します。「知りたい」「やりたい」「なりたい」気持ちを育成します。自ら学び続ける力、課題を発見し解決に向けて取り組む力を身につけます。

#### ●授業〔基礎力〕

「ライフデザイン」「食生活」「共生・保育・高齢者」「衣生活」「消費経済・環境」「住生活」の6つの分野を授業で学習し、基礎力を身につけます。授業では、基礎的な知識を習得すると同時に、自分の考えを整理するために必要なスキルを習得します。

#### ●探究ゼミ〔応用力〕

6つのゼミから、自分の興味・関心のある分野を選択します。所属したゼミに関する探究学習を一人一人、1年間で3回学習します。少人数のゼミを編成し、テーマに対して課題を見つけ、調べ、考えを深めます。また、ゼミの仲間と協力して課題解決を目指します。学習に取り組む一体感、達成感を得ることができます。

#### ●ホームプロジェクト〔実践力〕

夏休み・冬休み・春休みの長期休業で取り組みます。授業や探究ゼミで学習した内容を活用することで、充実した実践活動につなげることができます。家庭基礎の履修は1年次のみですが、継続して行うため3年間で7回のホームプロジェクトを実施します。進路実現だけでなく、将来の実生活に生かせる確かな力となります。

## 実施スケジュール

---

6月	・ 1年家庭基礎（探究）特殊詐欺について調査開始
7月	・ 家庭クラブ委員会の結成 ・ 啓発グッズの検討（スローガン、グッズデザイン等）
8月	・ 2学期始業式で詐欺被害防止についての講話（校内放送）
9月	・ 1年特殊詐欺防止川柳募集
10月	・ 啓発グッズの検討（ポスター、オリジナルキャラクター等）
11月	・ 1年特殊詐欺防止川柳発表
12月	・ 館林地区金融機関防犯協議連絡会 年末パトロール活動での啓発グッズ配布 ・ 1年家庭基礎（探究）特殊詐欺についての調査結果発表
1月	・ 館林警察署による「特殊詐欺防犯教室」実施 ・ ホームプロジェクト（冬休み）の共有 ・ 特殊詐欺防犯教室を踏まえたKANJO家庭クラブ新聞作成
2月	・ 館林警察署長より感謝状贈呈
3月	・ 活動のまとめ

## 実施概要

---

「自ら学び続ける力、課題を発見し解決に向けて取り組む力を身に付ける」ことを目的に、家庭クラブ委員、1年家庭基礎（探究）、1年ホームプロジェクトでの活動を中心に、学校全体で協働して実施。

## 活動レポート

### ■ 6月 特殊詐欺についての調査開始

1年家庭基礎（探究ゼミ）で、特殊詐欺をテーマに探究活動を開始。特殊詐欺の種類や特徴、被害状況などを調べ、自分たちに来ることを考える活動がスタートした。

特殊詐欺 20種類の中から1つが個人のテーマとして提示され、与えられたテーマについて手順に沿って探究活動を進めていくこととなった。

#### 【特殊詐欺（20種類）】

No.	特殊詐欺の種類	NO.	特殊詐欺の種類
1	預貯金詐欺	11	金融庁を騙った詐欺
2	架空請求詐欺	12	PDF 暗号資産（仮想通貨）トラブル
3	還付金詐欺	13	詐欺的な投資勧誘
4	融資保証金詐欺	14	無登録の海外所在業者による勧誘トラブル
5	金融商品詐欺	15	金融監督庁を騙った不正な手口
6	ギャンブル詐欺	16	義援金等を装った詐欺
7	交際あっせん詐欺	17	コールド・コーリング (電話等による詐欺的な投資勧誘)
8	キャッシュカード詐欺（窃盗）、スキミングによる偽造キャッシュカード被害	18	全国銀行協会決済ネットワーク職員・全国銀行個人信用情報センターの名称等なりすまし詐欺
9	給与の買取をうたった違法なヤミ金融	19	インターネットバンキングの本人認証情報をだまし取る不正なポップアップ画面
10	SNS等を利用した「個人融資」詐欺	20	年金情報流出を口実にした振り込み詐欺・個人情報情報の搾取

#### 【授業の様子】



## ■ 7月 家庭クラブ委員会の結成

本年度の家庭クラブ委員会が結成され、年間の活動計画策定や活動内容の説明を行った。新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、文化祭、オープンスクール、群馬県高等学校家庭クラブ連盟総会、ボランティア活動の中止が決定している中で、特殊詐欺防止啓発活動をどのように展開していくかが検討された。

まずは、全校を対象にスローガンや啓発グッズデザインの募集から開始。7月いっぱいを目途に各クラスから作品を提出してもらえよう、各委員会が活動することとなった。

【家庭クラブ委員による  
学校家庭クラブ活動の様子】



【スローガン、ポスター案】



## ■12月18日（金）10:00～11:00 防犯パトロールでの啓発グッズ配布

参加者：館林警察署長 警察署員／館林地区金融機関防犯連絡協議会会員

群馬県立館林女子高等学校長、教員1名、生徒（家庭クラブ委員）2名

年末特別警戒に合わせ、館林地区金融機関防犯連絡協議会と館林警察署は管内の金融機関（銀行等24機関）で防犯パトロールを行った。館林警察署で行われた出発式では、群馬県立館林女子高等学校家庭クラブ委員長から特殊詐欺への注意を呼び掛ける啓発グッズを連絡協議会に贈呈、各金融機関利用者への配布を依頼した。

その後、パトロール場所である学校最寄りの館林尾曳郵便局に移動し家庭クラブ副委員長と合流、2名で郵便局員や郵便局利用者へ本取組みの説明や啓発グッズの配布を行った。

【パトロール出発式での啓発グッズ贈呈】

【館林尾曳郵便局員への啓発グッズの説明】



【郵便局利用者へ啓発グッズ配布】





■12月18日（金）11:00～11:50/12:00～12:50 調査研究発表

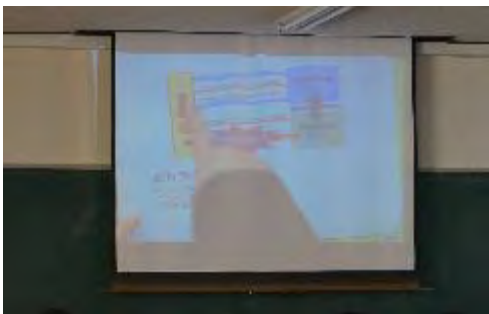
1学期から進めてきた「特殊詐欺にまつわる探究」について、発表・共有の授業が実施された。20種類の特種詐欺について探究学習してきた内容を2人1組でまとめ発表し、それぞれ評価を行った。「手口のポイントはなにかわかりやすくまとめる」、「予防のポイントはなにかわかりやすくまとめる」、「詐欺被害を予防するために自分にできることはなにか」など、発表時のポイントが前もって指示されていたこともあり、どの班も与えられた3分間で端的に発表することができていた。

特殊詐欺には様々な種類と手口があること、被害の特徴（被害者の年齢層など）、最新の被害状況など調べた内容を踏まえ、一人一人がどのようなことに気を付けていけばよいか具体的に提案することができていた。

本時の活動をもとに冬休みのホームプロジェクトの取組みとして、家族や親戚など身近な人たちと特殊詐欺について話し合う場を持ち、被害に遭わないためにはどうしたらよいかを考え、本活動で誕生したオリジナルキャラクター「やしぽん」のカードを作成し、合言葉を記入して電話や目立つ場所に貼り出すこと、アンケートを実施しそれぞれの騙されやすさについて確認することが指示された。

生徒たちは1学期から取り組んできた探究シートを見返し、冬休みのホームプロジェクトに向けて準備を行い、授業は終了した。

【発表の様子】



【探究活動ワークシート】

特殊詐欺にまつわる探究 個人テーマ	
1	詐欺被害者
2	詐欺被害者の特徴
3	被害者の年齢層
4	被害者の性別
5	被害者の職業
6	被害者の収入
7	被害者の学歴
8	被害者の居住地
9	被害者の家族構成
10	被害者の交友関係
11	被害者の趣味
12	被害者の特技
13	被害者の得意科目
14	被害者の得意分野
15	被害者の得意分野
16	被害者の得意分野
17	被害者の得意分野
18	被害者の得意分野
19	被害者の得意分野
20	被害者の得意分野
21	被害者の得意分野
22	被害者の得意分野
23	被害者の得意分野
24	被害者の得意分野
25	被害者の得意分野
26	被害者の得意分野
27	被害者の得意分野
28	被害者の得意分野
29	被害者の得意分野
30	被害者の得意分野
31	被害者の得意分野
32	被害者の得意分野
33	被害者の得意分野
34	被害者の得意分野
35	被害者の得意分野
36	被害者の得意分野
37	被害者の得意分野
38	被害者の得意分野
39	被害者の得意分野
40	被害者の得意分野

手順 1. テーマを決定する（授業のストーリーを振り返る）  
 2. 詐欺被害者の特徴・手口の調査を始めて、調査を進める  
 3. この手帳の、いづれかから、得意分野に、選んで発表の場、持つ  
 4. 得意分野、得意分野は、得意分野の得意分野、得意分野の得意分野  
 5. 得意分野の得意分野は、得意分野の得意分野  
 6. 得意分野の得意分野は、得意分野の得意分野  
 7. 得意分野の得意分野は、得意分野の得意分野  
 8. 得意分野の得意分野は、得意分野の得意分野  
 9. 得意分野の得意分野は、得意分野の得意分野  
 10. 得意分野の得意分野は、得意分野の得意分野  
 11. 得意分野の得意分野は、得意分野の得意分野  
 12. 得意分野の得意分野は、得意分野の得意分野  
 13. 得意分野の得意分野は、得意分野の得意分野

【探究シート】

特殊詐欺 探究個人テーマ	
1	詐欺被害者
2	詐欺被害者の特徴
3	被害者の年齢層
4	被害者の性別
5	被害者の職業
6	被害者の収入
7	被害者の学歴
8	被害者の居住地
9	被害者の家族構成
10	被害者の交友関係
11	被害者の趣味
12	被害者の特技
13	被害者の得意科目
14	被害者の得意分野
15	被害者の得意分野
16	被害者の得意分野
17	被害者の得意分野
18	被害者の得意分野
19	被害者の得意分野
20	被害者の得意分野
21	被害者の得意分野
22	被害者の得意分野
23	被害者の得意分野
24	被害者の得意分野
25	被害者の得意分野
26	被害者の得意分野
27	被害者の得意分野
28	被害者の得意分野
29	被害者の得意分野
30	被害者の得意分野
31	被害者の得意分野
32	被害者の得意分野
33	被害者の得意分野
34	被害者の得意分野
35	被害者の得意分野
36	被害者の得意分野
37	被害者の得意分野
38	被害者の得意分野
39	被害者の得意分野
40	被害者の得意分野

ホームプロジェクトにつなぐために（調査・地域に向けて）

【やしぽんカード】



## ■ 1月20日（水）16:00～16:30 特殊詐欺防犯教室の実施

（講師：館林警察署 生活安全課 課長 長岡征司 様）

群馬県内における特殊詐欺被害の実情や特殊詐欺に関する知識を深めるため、館林警察署員から講義が実施された。当日は、1学期から調べ学習や、啓発活動で使用する啓発グッズ制作などに取り組んできた家庭クラブ委員20名が参加した。

はじめに、生活安全課の仕事について紹介があった。

生活安全課は防犯や悪徳商法などへの対応、市民からの生活安全に関する相談受付など、市民の生活安全を守る部署であることが伝えられた。

講義は「特殊詐欺の手口と被害の現状」と「具体的対策と被害に遭った場合のケア」の順に進められた。

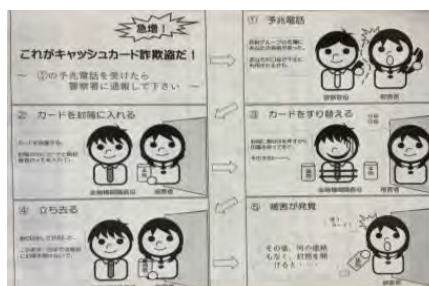
まず、群馬県内の過去5年間の特殊詐欺の発生状況を確認した。令和元年の特殊詐欺被害発生状況については、発生件数263件、被害額約6億430万円で、前年よりも発生件数、被害額ともに増加、1件あたりの平均被害額が約230万円で、侵入盗難よりも被害額が大きいことが説明された。被害者は主に高齢者で、詐欺被害に遭うことを恥ずべきことと思ひ、家族や警察への相談に繋がりにくい状況があることも伝えられた。

最近の手口で最も多いのは、警察官等を装って電話をかけキャッシュカード等を準備させて窃取する「キャッシュカード詐欺盗」であることから、被害防止対策として警察署では特殊詐欺対策装置（自動通話録音機）の貸出し（貸出期間原則1年）を実施、装置がない場合は留守番電話対応にし、相手確認をしてからの通話にすることで被害防止効果が見込まれること、「知らない相手から電話が来たら、まず相談」とし、家族や警察への相談のハードルを高く考えないようにしていくのも被害防止になることが伝えられた。

最後に、特殊詐欺の被疑者（主に出し子、受け子、かけ子）の多くは、先輩や同僚、友人など知り合いからの誘いが犯罪に加担するきっかけになっていることから、自分が被害者だけでなく加害者にもなり得る可能性があることを踏まえ、これからは交友関係にも気を付けて欲しい旨伝えられ講義は終了した。

家庭クラブ新聞を通じて啓発活動を行うなど、特殊詐欺啓発活動をさらに進めることができた。

### 【講義の様子】



■ 1月20日（水）～1月28日（木） KANJO 家庭クラブ新聞の作成

1月26日（火）に、1月20日（水）実施の「特殊詐欺防犯教室」に参加した家庭クラブ委員が作成した「KANJO 家庭クラブ新聞」の提出と、1～3年縦割り会議を実施。伝えたいことやPRポイント、発表原稿づくりと下書きチェックを行った。

1月28日（木）、1～3年縦割り会議を実施。各クラスの新聞チェックと家庭クラブ新聞とポスターの掲示、Google Classroom を活用した KANJO 家庭クラブ新聞の配信について検討を行った。

【話し合いの様子】



【KANJO 家庭クラブ新聞】

## KANJO 家庭クラブ新聞

3年2組

### 特殊詐欺から家族をまもろう 防犯教室に参加しました！

**防犯教室の様子・内容** 講師 徳林警察署 長岡さん

近年、警察官や銀行職員等になりすました犯人が「キャッシュカード交換の必要がある」と言い、たまたま取り替えるというキャッシュカード詐欺が多発している。特殊詐欺へ理解を深め、対策していくことが大切だ。

**おすすめの防犯対策**

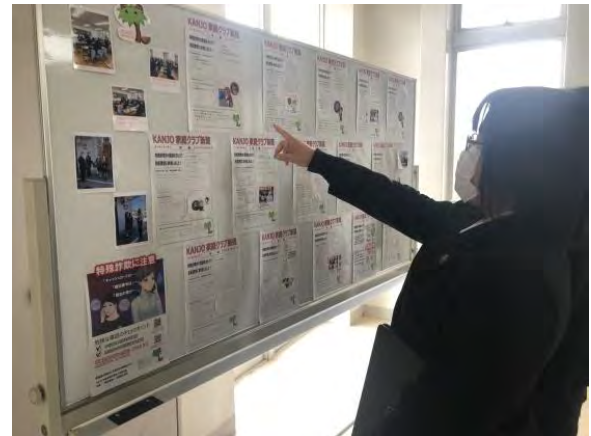
徳林警察署では特殊詐欺電話対策策画届出し事業を行っています。電話が来た時、いきなり通話を止めて、全ての通話を自動録音します。原則1年として県内在住30代、65歳以上の主婦の方を対象です。届出しを希望する方は 警察署へ申し込んで下さい。 0476-75-0110

**家族を守るおススメの方法**  
家族でできる詐欺対策!!!

- ・詐欺手口が組織化！家族や自分が詐欺に加担してしまう可能性が低いわけではないという当事者意識をもつ。
- ・家族間でお金のやりとりは必要口際の申請手續を定めておく
- ・普段から家族間のコミュニケーションをとっておく。

**感想** これからKANJO生としてできること、地域や家庭へのメッセージ

特殊詐欺防犯教室に参加し、特殊詐欺はとて身運なものであることも再認識しました。私たちは特殊詐欺についても理解し、その危険性を家族や地域の人に伝えていくことが大切だと思いました。実際に詐欺にわたられた方へお話を、新しい詐欺の形も調べ、注意していきたいです。



## ■ 2月1日（月）16:00～16:30 館林警察署長より感謝状贈呈

参加者：館林警察署長 瀧川和典 様 他警察署関係者  
群馬県立館林女子高等学校 長谷川充校長、渡邊邦子教諭、生徒1名

今年度の特殊詐欺防止啓発活動（標語等の制作、館林地区金融機関における防犯パトロール活動への協力、学校内での啓発活動の実施・啓発グッズの配布など）に対して、館林警察署長より感謝状が授与された。

贈呈式の後、1月20日（水）に実施された「特殊詐欺防犯教室」に参加した家庭クラブ委員が作成した「KANJO 家庭クラブ新聞」など、学校内での啓発活動について確認をしていただいた。

今後も連携を深め、学校と警察署が協力して地域の特殊詐欺防止啓発活動を継続していくことを確認し終了した。

### 【贈呈式の様子】



### 【家庭クラブでの活動紹介】



## 各活動の実績

---

### ■特殊詐欺防止川柳作品（抜粋）

- 「お金がない」 そう嘘つくな 犯罪だ
- プルルルル 受話器のことば 見極める
- 俺俺俺 その一言に 気を付けて
- 確かめる 家族限定 合言葉
- 疑って 怪しい言葉は 信じない
- 詐欺防止 家族の間の 合言葉
- 誰なのか しっかり確認 忘れずに
- 電話越し おいしい話 要注意
- 落ち着いて 知らない電話 要注意
- 騙されないで 自分のお金は 自分で管理
- 大丈夫？ 振り込む前に 考えよう
- 普段から 高めていこう 家族の絆
- 皆の家 家族を守る パスワード
- 決めようよ 防止のために 合言葉

## ■ホームプロジェクト（第2回） 家庭での研究調査

…計画書をもとに、冬休みに家庭内で特殊詐欺について研究調査を実施

**テーマ** 特殊詐欺から家族と財産を守ろう

### テーマ分析

- テーマの設定理由：年々増加している特殊詐欺の被害者にならないようにするため、実態を把握し、家族で具体的な対策を考えるべきだから。
- テーマに関して今分かっていること：（例）近年、急増しているのはキャッシュカード詐欺盗被害であること。被害者の多くは高齢者の女性であるということ。
- このプロジェクトで目指したいこと・改善したいこと：詐欺と関わることなく今まで過ごしてきたが、危機意識を持って過ごすきっかけを作りたい。また、「わが家は騙されない」という感覚を過信することなく、巧妙な犯行手口を調べ、家族がお互いを守る方法を改めて発見したい。

### プロジェクトの見通し

- プロジェクトを進めていく過程で予想される結果・問題点  
（各自の考え・イメージを現状に合わせて記入する）
- このプロジェクトで明らかにしたいこと（具体的に書く）

### プロジェクトの進め方

- 改善するために何をするか（What・When・How）→必要なデータや道具 収集方法を書く
  - ①詐欺の手口、事例を知るために警察庁、全国銀行協会、防犯協会連合のウェブサイトで調べる。実際にはどのような呼びかけがされているか調べる→インターネット、ホームページ、ATMなどの掲示物調査など。
  - ②①で調べた内容を家族に説明し共有する。
  - ③被害に遭わないための対策を一緒に考える。（ルール、合言葉、連絡の取り方など）
  - ④家の電話機に貼るテレフォンポップを作成し、家族に注意を促す。（合言葉を決めて記入）
  - ⑤実際に電話機に貼る。

### 実施結果と考察1「家族で特殊詐欺を理解する」

- ①セルフチェック（だまされやすさ度）の結果
- ②インターネットを利用して調べた特殊詐欺について家族とシェア…知らなかったこと、印象に残ったもの、選んだ理由も記入しておく。
- ③自分の家族の傾向…自分の家族がだまされるとしたら、その原因はどこにあるだろう。
- ④特に気をつけたい特殊詐欺の種類…3種類程度に絞って注意を高めよう。

## 実施結果と考察2「家族で対策を考える」

…その後の人生への影響も考慮し、事前に家族で話し合い共通理解をしておこう。

- ①家族の意見の記録
- ②合言葉（パスワード）が決まるまでの記録
- ③万が一、被害に遭ったら…

被害届は？/取られたお金の保障は？/被害者への声掛けは？/被害者の気持ちに寄り添うために必要なことは？/家族にしかできないことは？

**実施結果の写真**…写真を剥がれないように貼り、説明を加える。

- ①選んだ特殊詐欺の種類
- ②家族会議の様子
- ③作ったテレホンポップ・その他ポスターなど
- ④活用の様子

## 結論

- ①今回のホームプロジェクトの成果について、伝えたいことを大きくまとめる。
  - \*よい結果が出たことやその理由について書こう。
  - \*新たな問題点（実践・調査しても明らかにならなかったこと、思うような結果がでなかったこと）やその理由について書こう。
- ②今後の課題・解決方法と予定
  - \*できる限り具体的に考えて書こう。

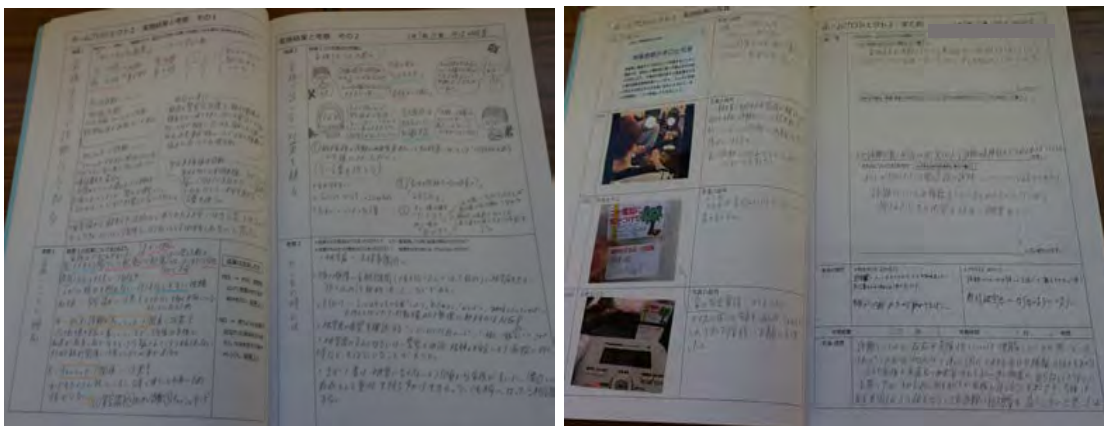
## 家族の感想

- ①助かったこと、良かったこと
- ②アドバイス、メッセージ

## 所要経費・所要時間

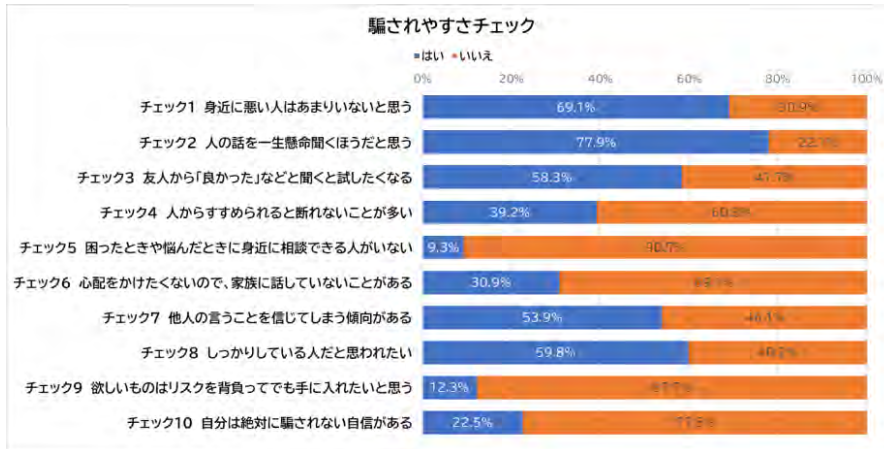
## 反省・感想

## 【ホームプロジェクトまとめ】



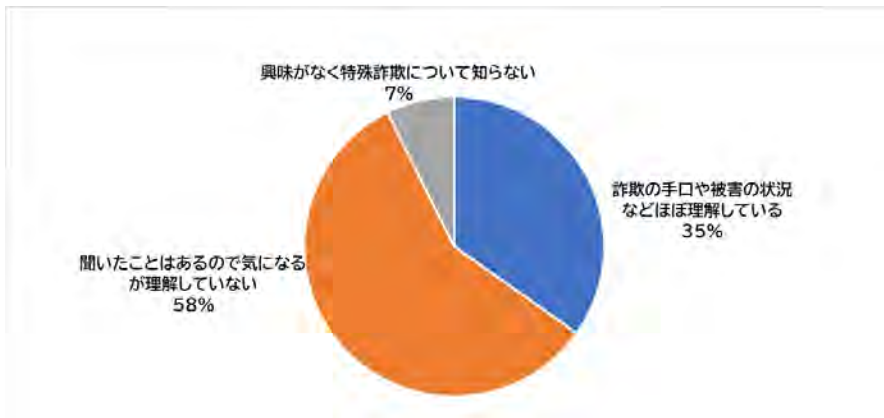
## 各家庭での特殊詐欺の研究結果のまとめ

### 1. 騙されやすさチェック (実施数 : 204)

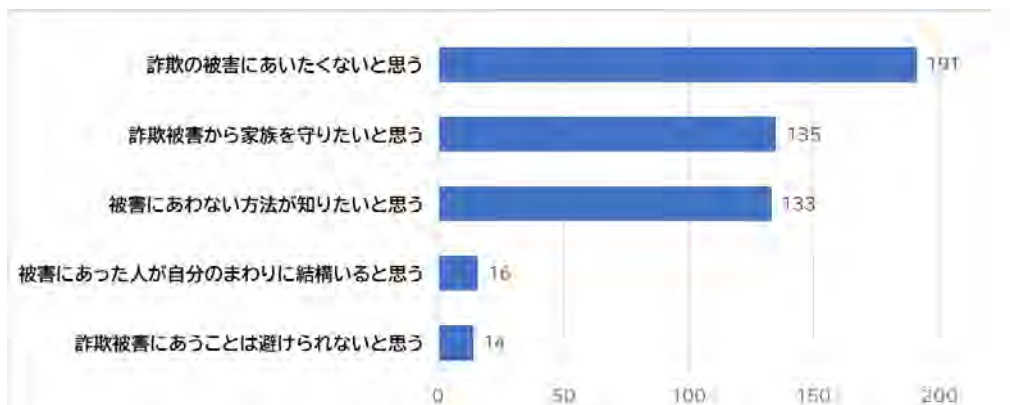


### 2. 特殊詐欺について (回答数 : 204)

質問 1 振り込め詐欺などの特殊詐欺を正しく理解していますか。

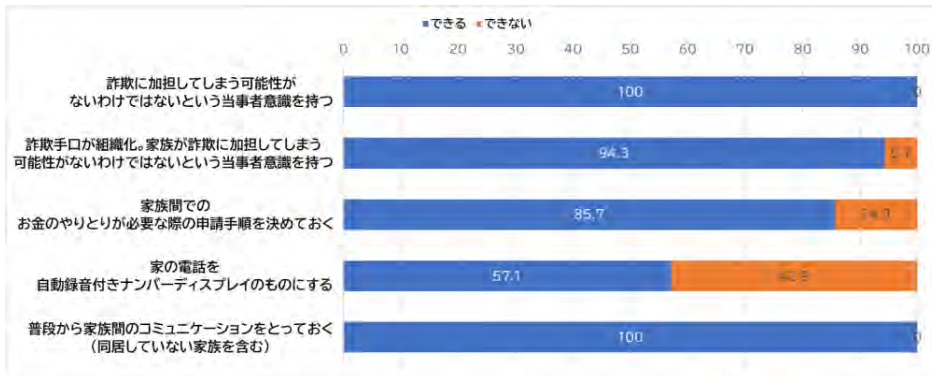


質問 2 詐欺の被害についてどう考えますか (複数回答可)

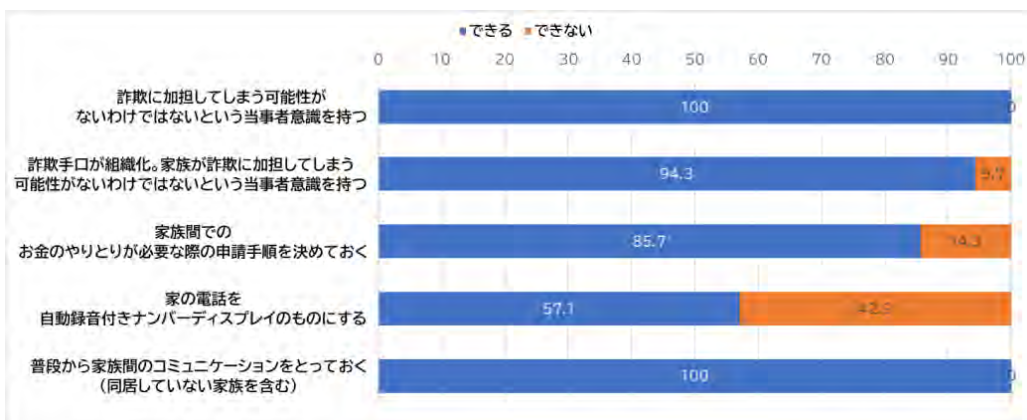




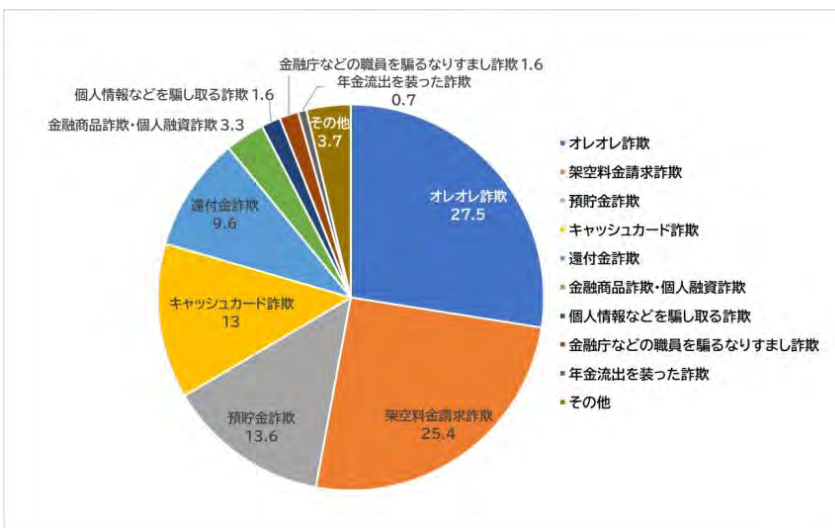
### 3. 家族でできる特殊詐欺対策（回答数：35）



### 4. 個人でできる特殊詐欺対策（回答数：31）



### 5. 家族で話し合った詐欺の種類（回答数：80）



### 6. 家族の感想・アドバイスなど（抜粋）

- ・ 祖父母を交えて詐欺についての話合いができ、詐欺に対する意識が高くなった。
- ・ 家族で詐欺について話し合うことがなかったので、話し合いの場ができて良かった。
- ・ 防止のための合言葉を決められたことはとても良い対策になると思う。
- ・ ホームプロジェクトのおかげで、改めて詐欺に遭わないためにはどのような事に注意すべきか気づかされた。

## ■各媒体における紹介

- ケーブルテレビ株式会社「ぐんま HOT ステーション」 2020年12月21日（月） 17:00  
12月23日（水）までリピート放送（06:00、08:00、12:00、18:00、20:00 他）  
館林警察署で金融機関警戒出発式
- 上毛新聞 2020年12月20日（日）  
管内金融機関を防犯パトロール 館女高生や署員ら
- 上毛新聞 2021年2月14日（日）  
防犯意識の向上に寄与 館林署が館女高に感謝状

## ■啓発グッズの配布実績

活動／配布先	日付	ポケットティッシュ	携帯用カイロ	館女サブレ	ポスター	ミニチラシ
みずほ銀行館林支店	12月18日(金)	20	20	20	2	20
群馬銀行館林支店	12月18日(金)	20	20	20	2	20
群馬銀行館林南支店	12月18日(金)	20	20	20	2	20
群馬銀行板倉支店	12月18日(金)	20	20	20	2	20
群馬銀行明和出張所	12月18日(金)	20	20	20	2	20
東和銀行館林支店	12月18日(金)	20	20	20	2	20
足利銀行館林支店	12月18日(金)	20	20	20	2	20
館林信用金庫本店	12月18日(金)	20	20	20	2	20
館林信用金庫西支店	12月18日(金)	20	20	20	2	20
館林信用金庫板倉支店	12月18日(金)	20	20	20	2	20
館林信用金庫明和支店	12月18日(金)	20	20	20	2	20
JA 邑楽館林大手町支所	12月18日(金)	20	20	20	2	20
JA 邑楽館林館林北支所	12月18日(金)	20	20	20	2	20
JA 邑楽館林六郷支所	12月18日(金)	20	20	20	2	20
JA 邑楽館林板倉北支所	12月18日(金)	20	20	20	2	20
JA 邑楽館林明和支所	12月18日(金)	20	20	20	2	20
館林郵便局	12月18日(金)	20	20	20	2	20
館林尾曳郵便局	12月18日(金)	20	20	20	2	20
館林本町郵便局	12月18日(金)	20	20	20	2	20
館林大街道郵便局	12月18日(金)	20	20	20	2	20
西谷田郵便局	12月18日(金)	20	20	20	2	20
板倉郵便局	12月18日(金)	20	20	20	2	20
江黒郵便局	12月18日(金)	20	20	20	2	20
川俣郵便局	12月18日(金)	20	20	20	2	20
館林警察署	12月18日(金)	40	40	40	4	20
館林市社会福祉協議会	12月28日(月)	20	20	—	—	20
赤羽公民館	2月4日(木)	30	—	—	—	—
郷谷公民館	2月4日(木)	30	—	—	—	—
館林女子高等学校生徒	3月1日(月)	290	30	230	20	230
学校評議員	3月1日(月)	8	8	8	8	8
入学予定中学生・保護者	3月22日(月)	—	—	400	—	400
<b>合計</b>		<b>898</b>	<b>578</b>	<b>1158</b>	<b>80</b>	<b>1158</b>



【ポスター】

【携帯用カイロ、ポケットティッシュ、館女サブレ】

## 1年間のまとめ

---

この1年間、特殊詐欺防止啓発活動を行ってきた家庭クラブ委員と担当の渡邊教諭に、1年間の活動について振り返ってもらった。

### 〈生徒の振り返り〉

#### ①活動を通して感じたことや考えたこと

- ・1～3学年を縦割り班で活動することで、様々な視点から特殊詐欺に目を向けることができ、たくさんの意見を出し合えた。
- ・年末パトロールに参加し直接地域の人に呼びかけを行うことで、地域に役立っていると思えて嬉しかった。
- ・防犯教室で学んだことで、自分たちが調べていたことより被害の現状、犯行の様子などを詳しく知ることができ、理解を深めることができた。
- ・自分たちが加害者になり得ることがあるなど、思ってもみないことも学ぶことができた。
- ・コロナ禍で思うような活動ができなかったが、可能な限り出来ることに真剣に取り組むことができて良かった。

#### ②活動を通して自分自身で変わったと思うところ

- ・特殊詐欺に対する知識量が増え、特殊詐欺と向き合う意識を持つようになった。
- ・家族や地域の人に発信していく力や方法などを得ることができた。

#### ③今後どのような活動をしていきたいか、日常生活で気を付けていきたいか

- ・特殊詐欺の知識をあまり持たない人にも特殊詐欺の恐ろしさを知ってもらうため、もっと周りの人に広めていきたいと思う。
- ・家庭クラブ活動として、より特殊詐欺について調べ理解を深め、具体的な対策やアドバイスができるようになりたい。
- ・情報や動画などを電子掲示板で視聴できるようになると良いと思う。
- ・全校の皆には、特殊詐欺の恐ろしさや自分が知らないうちに加害者になってしまう可能性があるということ等知って欲しいと思う。

## 〈担当教諭の振り返り〉

家庭科での取組みということで、①「学校家庭クラブ活動」と②「家庭科の授業での探究学習」を結びつけて出来る活動内容について工夫し、学校全体で取り組めるよう生徒と話し合いながら活動を進めた。

①「学校家庭クラブ活動」では、家庭クラブ委員の縦割り班によって1～3年生が交流し、意見を出し合ったり、アドバイスをしたりする様子が見られた。3年生が中心となって意見やアドバイスを出してリードしてくれたことで、各委員が主体的に学び、考え、クラスの代表として生徒をまとめ、ストーリーが形になっていった。キャンペーングッズの準備においても積極的に活動し、年末特別警戒パトロールにも熱心に参加希望を出してくれた。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、残念ながら希望通りの活動をさせられなかったが、逆に思いは熱く、関係者の方から説明を求められた際には伝えたいことが尽きない様子が見られた。

本校の家庭クラブは、「館女」から「家庭」へ、「家庭」から「地域」へ、創立100余年分の先輩方の思いを伝えていきたいという館女スピリッツが根底にある。年度初めの休校措置や活動制限がなければ、生徒のアイデアをもっと盛り込んだ綿密な活動計画が立てられ、拡張性が高く、さらに意味のある活動内容となったのではないかと思うと少し未練が残る。しかし、本校の生徒の特長である「献身的で正義感が強い」ところが活かされた活動であったと感じた。

②一方で、家庭科という教科性から、常にテーマとしている「問題の発見力・課題解決力」を身につけさせることができるプログラムとなるよう意識して取り組んだ。

『特殊詐欺から家族と財産を守ろう』という統一テーマを設定し、1年生全員が取り組んだ「ホームプロジェクト」（各家庭での個人研究活動）では、家族と一緒に特殊詐欺について学び、意見を出し合って対策を考え、家族がフィードバックするなど、実践的でインタラクティブな活動に発展させることができた。例年よりも、生徒の家族との良好な関係性を確信することができたうえ、家族の感想などから、生徒が家庭に貢献したことを確認することもできた。このような機会をいただくことができて大変ありがたいことだと考え、教員としても勉強になった。生徒たちのこの経験は、次の問題解決へのステップとなることが大いに期待できる。

高校生は社会をよく見ており、世の中を知れば知るほど自分に何が出来るのか、自分が何をしたいのかを明確にすることができる。その思いを表現する方法を教え、方向性を検討させ、力を発揮する場を与えてあげることが教員の仕事であると思っている。

今回の「特殊詐欺防止啓発活動」は、来年度以降も「ホームプロジェクト」や「探究学習」のテーマに組み込む予定としている。特別警戒パトロールやボランティアなどにも積極的に参加して、意識の高い「学校家庭クラブ活動」として地域貢献を目指していきたい。